2013 年 10 月 22 日（火）

＜Press Release＞

耐震構法
ＳＥ構法

http://www.se-structure.com/

＜耐震構法ＳＥ構法＞

2013 年上半期　構造計算、過去最高を更新

昨年 10 月の新 CI による効果と
消費増税前と金利上昇懸念による“駆け込み需要”効果で

～重量木骨の家、９月単月で前年同月比 300％～

株式会社エヌ・シー・エヌ
本社：東京都港区赤坂 4-8-14
社長：田鎖郁男、資本金：1 億円

全棟構造計算書付きの SE 構法を独立系住宅ビルダー、工務店による全国の SE 構法登録施工店を通じて供給している株式会社エヌ･シー･エヌ（以下　ＮＣＮ、URL：http://www.ncn-se.co.jp/）は、2013 年上半期（4 月～9 月）の構造計算出荷実績が、過去最高を記録したので、ここにお知らせします。

2013 年４月～９月のＳＥ構法の構造計算出荷棟数は、過去最高の 904 棟となり、前年比 125％。重量木骨の家のプレミアムパートナー５４社の契約高では９月単月で前年比 309％という駆け込み需要がある状況となっております。

これまでの単月での構造計算出荷は、東日本大震災後の 2011 年７月の 172 棟でありましたが、2013 年４月からの数ヶ月は、170 棟前後を常に推移しており、今回の上半期での過去最高を記録いたしました。

こうした結果の理由として、
2014 年 4 月からの消費増税に向けた駆け込み需要とともに、「アベノミクス効果」による今後

＜Press Release＞

耐震構法
ＳＥ構法

http://www.se-structure.com/

の住宅ローン金利上昇の懸念による受注増加、そして、2012 年 10 月に、ＳＥ構法のＣＩを、『耐震構法ＳＥ構法』に改訂し、2013 年 1 月より積極的なメディアへの露出、更には、ＳＥ構法登録施工店の広告宣伝効果により、今回の過去最高の構造計算出荷実績となったと考えられます。

また、ＳＥ構法の登録施工店のなかには、昨年比の約３～４倍の受注をしている登録店も数多くあり、消費者へわかりやすい『耐震構法ＳＥ構法』というＣＩ効果や消費税の駆け込み需要・金利上昇懸念とともに、登録施工店の認知活動との相乗効果が結果につながったと考えられます。

今後、“駆け込み需要”後の落ち込みを懸念する声は、業界内で聞こえてきますが、ＮＣＮでは、2013 年下期は、2014 年の税制優遇にむけて、当初から推進している長期優良住宅をはじめ、新たに低炭素住宅といった支援サービスを充実させ、“駆け込み需要後の落ち込み”を、ＳＥ構法登録施工店のみなさまと一緒に対応していきます。

今後もこうした動きがあれば、ご報告させていただきますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

■ＳＥ構法について

ＳＥ構法とは、コンピュータ制御による高精度プレカットによって作られた集成材を軸組部分に採用し、接合部にＮＣＮ独自開発によるＳＥ金物を使用することによって、圧倒的な構造強度を実現、大空間や大開口を可能にした住宅構法で、国土交通大臣の一般認定を取得しています。また、ＣＡＤと連動した立体応力解析を物件ごとに行うことで、「勘」に頼らない、具体的な構造計算のデータを基にした安全性を確保できるため、真に安心して建てることのできる住宅として注目されています。施工する工務店も、ＮＣＮが開催する講習を受け試験に合格し登録施工店の資格を取得する必要があります。現在４８６社（2013 年３月末現在）が「ＳＥ構法登録施工店」として活躍しています。2013 年 10 月には、ＣＩロゴを「耐震構法ＳＥ構法」に一新し、創業以来、全棟構造計算・全棟性能保証を実施し、延 13,195 棟（2013 年 3 月末実績）の構造計算を行ってまいりました。※本文中記載の社名、及び商品名は各社の商標または登録商標です。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社エヌ・シー・エヌ
総合企画室　松延（マツノベ）　まで
電話 03-5775-7357、FAX03-5775-7350
Mail : info@ncn-se.co.jp